

流れを変えた1点目



後半立ち上がり、豪快なボレーシュートを叩き込んだ小牧(写真中央)

小牧コメント：(今日は)前半入り方が悪くて、完全に試合の流れ的に悪かったので、後半二点とったあと、次の三点目がとれなかったのが、課題だと思う。(ハーフタイムの指示は)まずは自分達のやるサッカーを徹底することを話した。(雨の影響は)立ち上がり小さいことをしすぎていたので、もっと大きいことをやろうと言っていた。後半は大きいこと大きいことをやろうとして、最初は出来ていたのかなと思う。(得点は)ゴールが近かったので、思いっきり打った。(今日の結果はどう捉えているか)引き分けるゲームじゃなかったと自分は思うので、勝てなかったのが悔しい。(次戦に向けて)今日のことを反省して、次はしっかり勝てるように頑張りたい。

インフルエンザから復帰した確井は、攻撃の起点を作った



悔ってきた 中盤の要

新しき

同点ゴールを決めた若山



若山コメント

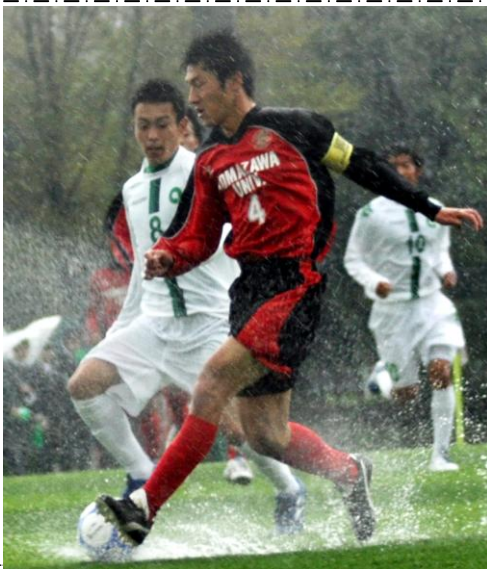
(実質デビュー戦だが)前節は1分だけでも出られたので、今日は落ち着いてやれた。(得点シーンは)キーパーが弾くと思ったので、出ようと思っていた。入ってうれしい。(早い時間に得点できたが)あの時間に3点取れたら去年と違うチームになったと思うので、もう1点取れば良かった。

何もできなかった前半から生まれ変わった後半、同点ゴールはこの二人から上がった。後半から登場した若山は「潰し役」に徹し、相手攻撃の芽を摘んだ。さらに51分にはFKのこぼれ球を押し込み得点。大仕事をやってのけた。前節はインフルエンザで欠場した確井。正確なキックで数々のチャンスを演出していった。51分には正確なFKで若山のゴールを生み出し、存在感を見せつけた。まったくタイプの違う2人が、駒大の中盤を支えていく。

主将の言葉

(雨の影響は)雨の影響で思ったよりボールが伸びないところと、言い訳になるがやりづらい感じはあった。(相手は)亜細亜大のプレーはビデオで観ていて確か一節も前半で点を取っていてそこは気を付けようと思っていたが、雨でやられてしまって。(ハーフタイムはどんなことを話した)

前に前にプレスしていくしかないということと話した。(後半のゴール前でクリアした場面は)檜山がチャレンジして前に出たので、ゴール前でカバーした。(次節は)桐蔭横浜は強いが、自分達のサッカーをやるしかなく、徹底的にやってしっかり勝ち点3を取りたい。もっと前からプレスをかけていくことを突き詰めていきたい



雨の中粘り強い守備を見せた三澤主将